

平成19年度 海技大学校  
「海の月間行事」 実施報告

海技大学校 松田 弘

7月の第3月曜日の「海の日」を記念して行われる「海の月間」(7月1日～31日)行事の一環として海技大学校でも芦屋本校(芦屋市)と児島分校(倉敷市)で施設公開や練習船「海技丸」での体験航海を今年も開催いたしました。

7月23日に芦屋本校で行われた施設公開では、参加者はロープの結び方教室で慣れない手つきでロープ結びの不思議さを体験していただきました。そして、操船シミュレータを模擬ながら実際の船舶のような実感(少し船酔いされる方もいます)を各自が体験し、各装置等に触れて普段は体験できない操船感覚とスクリーンに実写のように映し出される航路風景の模様感動されていました。

また、夏の日差しが照りつける中、練習船「海技丸」の体験航海では参加者を2回に分け六甲アイランドを一周、約1時間かけて航海しました。船橋(ブリッジ)では船長の説明を受けながら実際に舵を握ったり各計器を覗き込んだりして少しの時間だったのですが乗船者は船酔いもなく大阪湾の潮風と実船の感覚を堪能し少しでも海と船に関心と興味を持っていただいたと思います。

一方、30日に行われた児島分校では参加者は池西分校長による「海と船のお話」を熱心に聞き入り、ロープワーク教室ではロープ結索テクニックを学び、施設・実習機器の見学をし、楽しんでいました。

参加された皆さんには海や船に対して大変興味を抱いていただいたようで、その顔からはこのイベントの必要性を実感しました。

今回の行事に対し日本船舶海洋工学会並びに財団法人運輸振興協会より多大なるご支援を賜り無事に実施できたことを記し、関係各位に謝意を表します。



練習船体験航海



ロープワーク教室